

2013.9 ネガティブを吹き飛ばす“超”繁盛の法則 **実践事例** 紹介

第6号は・・・『鎌倉投信株式会社』(神奈川県鎌倉市) 『R&Iファンド大賞2013』(投資信託/国内株式型部門)において最優秀ファンド賞を受賞。皆で応援せずにはいられない『いい会社』に、生きたお金を届ける凄い会社。

金融業界の常識からすると異端児。

普通の運用会社が投資しない企業でも、社会にあるべき『いい会社』であると判断したら、投資する。
「この会社が潰れると日本がダメになる。
その大切なお金を私達に預けて下さい。
日本を良くする生きたお金にします。」

◇会社概要◇

- 社名 鎌倉投信株式会社
- 本社 神奈川県鎌倉市雪ノ下四丁目5-9
- 設立 2008年11月5日
- 資本金 4億2,400万円(平成25年7月現在)
- 代表 鎌田恭幸
- HP <http://www.kamakuraim.jp>



鎌倉投信の実力。各評価機関デビュー戦で**最高位の評価獲得**

◇2010年3月に「結い 2101」の運用を開始したばかりなのに・・・

- ⇒2011年8月、テレビ東京系列「ガイアの夜明け」に登場。
- ⇒2013年4月、投信格付評価で定評のある評価機関モーニングスターの総合レーティングにおいて、母集団初登場で星5つ獲得。
- ⇒『R&Iファンド大賞2013』(投資信託/国内株式部門)において最優秀ファンド賞を受賞。

統計学的に言えばこの結果は偶然。ただ偶然も10年続けば必然。 **何故?**

「結い2101」の投資先は『いい会社』。では、いい会社ってなに!?

規模の大小でもなければ、上場非上場も関係ない。会社が100年続くオンリーワンの理念があり、それを伝えるメッセージ性があり、今後の日本社会にどうしても必要かどうか。

- ① これからの日本に必要、なくてはならない企業
- ② 社員とその家族、取引先、顧客・消費者、地域社会、自然・環境、株主等を大切に、100年続き、豊かな社会を醸成できる企業
- ③ 『人』・・・人財を活かせる企業
- ④ 『共生』・・・循環型社会を創る企業
- ⑤ 『匠』・・・日本の匠な技術・優れた企業文化を持ち、また感動的なサービスを提供する企業

いい会社に投資をすればそれは成功する。社会に役立つ人が勝つ。自然の摂理でしょう?

投資先例 HPより抜粋

① 池内タオル株式会社(愛媛県)・・・熱狂的なファンの多い、いい会社。
タオルといえば今治。だが、池内タオルの創る「風で織るタオル」は一味も二味も違う。風力発電100%で創るタオル、赤ちゃんが口に入れても安全なタオル、そして世界で最もピュアなタオルとして米国の雑誌でも取り上げられるタオル。なぜ、これだけのこだわりを持てたのかは、基本理念である「母親が自分の命より大切にしている赤ちゃんに安全なタオルを届けたい!」という想いからだった。応援せずにはいられない。

② 株式会社エー・ピーカンパニー(東京都)・・・六次産業化をしながら人財育成を行ういい会社
塚田農場などの居酒屋チェーンを展開するエー・ピーカンパニー。第一次産業を六次産業化するために、直営の養鶏場などから仕入れ、その出口として居酒屋を使う。そのWin-Winの関係性を誇りに社員・アルバイトが感動サービスを提供するいい会社だ。

③ 亀田製菓株式会社(新潟県)・・・家族みんなが働きたい会社
親子、夫婦、兄弟など、家族で勤務している人が多い亀田製菓。それは、そもそもが農家の収入を支えるためにできた共同組合から生まれた会社だから。米どころ新潟で、米菓にこだわり、さまざまなヒット商品を世に送り出している。震災で影響を受け採用取り消しになった方々を10名採用する方針を固めた亀田製菓。地域を大切に、人を大切にする会社だ。

④ 株式会社アメニティ(神奈川県)・・・人を磨き、トイレを磨きたい会社
社内検定である「トイレ診断士」という新たな分野を創ったアメニティ。渋谷区役所前のトイレの命名権取得などで少しずつ知名度が上がってきた。「トイレを磨くことは、人を磨くこと」そんな人財育成をしている。トイレの綺麗さは、日本の価値観。トイレ清掃とは異なる新たなビジネスがここにある。

⑤ 株式会社雪国まいたけ(新潟県)・・・食という社会貢献をするいい会社
バンガラディッシュにおいて、グラミングループと合併で緑豆もやしの栽培に乗り出す雪国まいたけ。食で世界を豊かにする、そんな絵を描き始めた。日本の食が世界へ踏み出す瞬間かもしれない。そんな会社が社会に必要なとされないわけがない。



鎌倉投信「結い2101」の投資先は・・・全力で**理念経営**を実行している会社。

■鎌倉投信さんは、『社会が良くなるために必要なこと』を使命感を持って行っている会社でした。

「その会社の社長がいなくなっても、DNAが残る会社に投資します。」



100年個人投資家に支持される長寿投信を目指し
300年社会に貢献する企業を支援し
1000年続く持続的な社会を育む。

今回の取材では取締役 資産運用部長 新井 和宏氏にお話を伺いました。



取締役 資産運用部長の新井 和宏氏
日系信託銀行、外資系投信投資顧問会社等を通じ20年以上にわたり資産運用業務に携わる。豊富な運用経験を有し、前職での運用資産額は、1兆円を超える。2008年11月 4名の志を共有する者と共に鎌倉投信(株)を創業。資産運用部長として運用業務を統括する。



鎌倉にある築80年の日本家屋を再生し本社にされています。自然光と虫の音が響き、扇風機の柔らかな風の中お話を頂きました。お金や金融は豊かな社会を育む水脈のようなものだと考え、長期的な視野で“人と人”“世代と世代”を繋ぐ調和ある社会の発展に資するものだと考える、鎌倉投信の理念が貫かれた職場だと思えました。

Q & A

鎌倉投信とはこういう会社でした。

Q「新井さんはいい会社をどうやって発掘してるんですか？」

A「**口コミ**です。色んな方が教えてくれます。どこに投資するかが我々の仕事ですから一番大事なところですよ。でも、**投資先は自分が選ぶものではなく社会が選ぶもの**だと思います。それが口コミになって私の耳に入る。もちろん直接訪問してあらゆる角度から調査します。最後は社内会議で、全員一致で決定です。」

Q「全員一致しなきゃ投資先を決定しない？」

A「基本的に。だから会議には熱が入ります。**目の前の投資家を説得できなければ、直接に企業を見ない投資家さん達を説得できないですよ。**」

Q「投資先の業種業態も様々ですから、選ぶ軸を持つのは難しそうですが？」

A「モノもサービスも飽和状態です。今、分かりやすい差別化なんてできません。そしてどの業種も企業も必ず競争に巻き込まれます。だからソコで勝てる強烈な**“ココにあるしかない地域性”**“やる意味を突き詰めた本業の拡大解釈”**“メッセージ性”**がある会社かどうかを見極めるのがポイントだと思います。」

Q「直接トップと会うのでしょうか、どんな方に会った時、新井さんはドキドキしますか？」

A「**カリスマ経営者じゃない方がいい**。その後を継ぐ人がいませんから。我々の投資先は**100年続いて社会の役に立つ会社**じゃないと困るんです。何もできないけど人が良くて、周りの人が代わりに頑張ってくれちゃう。そんなトップと会いたいです。且つ、**死ぬまでコレをやり続ける。死なないと諦められない！**そんな**使命感**がある方。例えばその方が死んでもDNAが残る会社がいい。いい会社になろうとし続けたいと思いません。」

Q「この間の受益者総会では、金銭的な質問が一切なく、みんな笑ってばかりだったと聞きました。」

A「そうです。ホンモノの会社に**自分のお金が生きて使われているという実感**があるからだと思います。我々の選んだ会社が世の中からなくなる事と預かったお金がなくなるのでは、**会社がなくなる方が社会的損失が大きい。だからリスクを負って欲しいと真っ直ぐ説明します。**一度事業に失敗した会社にも**投資**します。他の金融機関はまずやらないことです。」

Q「他の金融機関がやらない事をやるのは鎌倉投信の使命ですか？」

A「30年低迷しているマーケットって日本だけです。**社会的課題が多すぎるから世界は日本に期待が持てない**んです。だから、課題を解く力がある＝社会と世界に貢献する会社を応援しないとダメなんです。そういう会社は**お金に困ってちゃダメ**なんです。それには金融がキチンとしていなければ。そうじゃなきゃ**社会は良くなりません。この会社となら心中する！**って宣言する金融機関があってもいいじゃないですか。」

・・・こういう金融機関があってもいい。鮮烈にそう思いました。



おもてなし経営企業選
～地域でわかりやすくニッポンのおもてなし企業の秘訣～

今回の出会いの始まりのお話。エイム・トゥはおもてなし企業選を応援します。

「おもてなし経営企業選」は、経産省が推進するプロジェクトの1つです。地域・顧客との関係を強化。価格競争ではなく高付加価値のサービスで勝負する経営の事で、中小企業が目指すべきビジネスモデルの1つとして経産省が普及を目指しています。この取組みは、当社コンサルティングのメインテーマに据える「理念経営」と一致。当社も経産省と連携しながらセミナーやフォーラムを開催し当プロジェクトを応援して参ります。「NPO法人いい会社をふやしましょう」の理事でもある新井さんは、おもてなし企業選の選考委員として尽力され、思想が素晴らしいと経産省のご担当者からご紹介頂きました。今後、当社セミナー等にもご登場頂く予定です。皆様喜んで頂ける事を思い、楽しみにいっぱいです。 記.伊藤亜季